

2021年6月28日 29日改訂 7月16日付記

『隠州視聴合記』と『改正日本輿地路程全図』における「竹島」の記述・描写に関する私見 補遺10

嶋尾 稔

Carl Diercke が 1883 年に初版を刊行した教育用世界アトラス Schulatlas für höhere Lehranstalten はその後たびたび版を重ねたが、その地図帳に収められている Hinter Asien 図のなかの日本海上に鬱陵島と竹島（男島・女島）が描かれている。韓国側の主張では、この地図中に韓国の海域と日本の海域を分割する海上境界線が描かれており、竹島はそのラインの韓国側に描かれているという。

ネット上で見ることもできるいくつかの版を検討してみたい。

①

[Diercke-Schulatlas für höhere Lehranstalten - GEI-Digital - The Digital Textbook Library](#)

Diercke, Carl & Gaebler, Eduard

Hinter Asien

Schulatlas für höhere Lehranstalten

Braunschweig: Westermann

1895

②

[Hinter-Asien - David Rumsey Historical Map Collection](#)

Diercke, Carl & Gaebler, Eduard

Hinter-Asien.

Diercke u. Gaebler, Schulatlas für höhere Lehranstalten. Druck und Verlag

Braunschweig, George Westermann

1896

③

[Historical Maps of Asia \(ua.edu\)](#)

Diercke, C. and E. Gaebler

Hinter Asien

Braunschweig: George Westermann, 1898; from Diercke, Schul-Atlas Für Höhere

Lehranstalten

④

[Historical Maps of Asia \(ua.edu\)](#)

Diercke, Carl and Eduard Gaebler

Hinter-Asien

Brunswick, Germany: George Westermann, 1902; from Schul-Atlas für Höhere
Lehranstalten

①には海上境界線は描かれていない。②～③には赤色の海上境界線が見える。台湾と大陸、朝鮮半島と日本、北海道と樺太の間を通る三つの線が描かれている。その赤線を拡大してみるとあとからの書き込みのように見える（特に台湾方面の線が手書き風である）。

そもそも19世紀末のドイツの教育用世界地図帳のなかの東アジア海域にわざわざ根拠も性質も曖昧な海上境界線を描く意味はあるだろうか。常識では理解しがたいところである。

扱いに注意を要する資料であることは間違いない。

また、*Le Petit journal. Supplément du Dimanche. 03 septembre 1894.*に掲載された *Carte de Corée* の日本海上にも海上境界線が引かれていて、竹島は描かれていないが、その位置は境界線の韓国側にあるという主張がなされることもあるようだ。

この週刊誌はピリオテック・ナショナルに所蔵されており、Gallicaで画像をみることができる。その海上の境界線は、*Limite des eaux japonaise* と記されているが、何を表現しているのか、定かでない。当時の常識では領海は3海里のはずであるが、それよりは相当遠くまでを含んでいる。新聞社が適当に引いた線のようにも見える。日本の水域の境界を示したつもりらしいので、その外側は日本の海域ではないということになるのだろうが、とはいえ、日本の海域と韓国の海域を二分するという性質のものではないから、それがすぐに韓国の海域になるという解釈もありえない。

付記

竹嶋関係の韓国発の妄想に付き合っていたらきりが無いのだが、最近もひどいウソがあった（レコチャの紹介情報による。恐縮。）。「長久保赤水は1775年、江戸幕府に自身が描いた新刻日本輿地路程全図の官許を申請したが、鬱陵島・独島が日本領土と表示されているという理由で断られた」などという事実はない。まったくもう。